

情報モラル教育実践授業報告書

対象学年	高校1年生
領 域	学校設定教科 キャリアデザイン I
指導項目	社会問題となっている事例を学び、トラブルの原因について理解を深め、対策や解決方法を考える。

情報モラル指導モデルカリキュラム http://kayoo.org/moral-guidebook/model/model-curriculum.html			
指導分野	情報社会の倫理		
コード	d5-1 d5-2	指導事項	情報社会の特性を意識しながら行動する トラブルに遭遇したとき、さまざまな方法で解決できる知識と技術を身に付ける

授業前の生徒の状況	96%の生徒が、スマートフォンなど自分の携帯情報端末を持っている。しかし、ルールやモラルを守り、適切に利用しているとは言い難い。高校生になり、よいこととよくないことの判断はできるが、理解していても行動が伴わないことがある。
期待される生徒の変容 (ねらい)	自己の経験を振り返り、嫌な経験や失敗を繰り返さないための対策を自ら考える。クラスメイトの体験を共有しながら、自分を見つめ直すとともに、高校生として自覚と責任ある行動をとる。
生徒の変容を促すための授業の 手順	①自己のトラブル事例の紹介 ②トラブル事例の共有 ③グループ内でトラブル事例への対策検討 ④グループ内で話し合った結果を発表 ⑤ワークシートに、この授業で学んだこと感じたことを記入
利用するコンテンツ等 (サイトのアドレス) または資料等	なし

《使用資料等》

事前アンケート

ワークシート「発表と振り返り」

プレゼン作成用プリント

評価 (指導者による授業への評価)

生徒について	生徒の 興味・関心の度合い	1. 低 2 3 4. 高 ----- ----- ----- 理由・感想等 インターネットに関わるトラブルについて生徒の関心は高い。
	生徒の理解度	1. 低 2 3 4. 高 ----- ----- ----- 理由・感想等 高校生としてどうすべきか、十分理解はできた。
	生徒の 変容の度合い	1. 低 2 3 4. 高 ----- ----- ----- 理由・感想等 悪いことやトラブルを避けるためにはどうしたら良いかなど真剣に考えていた。ただし、実践できるかどうかは心配である。
授業について	事前準備の難易度	1. 難 2 3 4. 易 ----- ----- ----- 理由・感想等 授業準備は難しくはないが、生徒は自分の経験したトラブルを発表した がらないため、トラブル事例を事前に準備するなどの配慮が必要であっ た。
	指導者にとっての 授業展開の難易度	1. 難 2 3 4. 易 ----- ----- ----- 理由・感想等 展開としては難しくないが、「トラブルの経験なし」の生徒たちに、他 人事のように考えさせない工夫が必要である。
	授業の「ねらい」の 達成度	1. 低 2 3 4. 高 ----- ----- ----- 理由・感想等 授業としてはある程度「ねらい」を達成できた。学校の指導だけでは不 十分なので、家庭や他の機関との連携を考慮していきたい。
	指導方法の 効果の度合い	1. 低 2 3 4. 高 ----- ----- ----- 理由・感想等 プレゼン作成の実習を同時に取り入れてみたが、生徒によっては、プレ ゼンの完成に集中し過ぎて、本来のテーマがぼやけたケースもあった。

<実践の感想及び反省点等>

情報モラルの大切さについて、生徒は分かっているつもりになっているが、行動が伴わない生徒も多く、まだまだ危機感が足りないと感じられる。インターネットに関するトラブルに遭った経験を事前アンケートに書かせたが、多くの生徒が当たり障りのない内容であった。深刻な事例を経験している生徒もいると思うが、正直に書きにくいのが実情であったと思われる。

PowerPoint を用いた発表をさせるなど、学習内容を盛り込みすぎたが、生徒は積極的に取り組んだ。

実践例 (プレゼン実習も含めて4時間)

1時間目

配当時間		学習の進め方	指導のポイント
導入	5分	1 この単元の概要を知る。 ・ 情報社会で自ら判断し、適切に行動でき、トラブルの予防や対処ができるようになる。 ・ インターネットに関するトラブル事例を互いに発表して、その問題点、対処方法、予防方法について協議し、発表する。	・ インターネットに関わる問題が高校生の身近にたくさん発生していることに気付かせる。
展開	40分	2 インターネットに関わるトラブルの経験や事例を、事前アンケートに書く。(経験や事例を思い浮かべない場合は、トラブルに巻き込まれない理由や方法を事前アンケートに書く) 3 アンケートを基に、グループの中でインターネットに関わるトラブルの経験について発表して、情報共有する。 4 グループの中で発表した事例について、それぞれ、問題点、予防する方法、事例が発生したときの対応方法について協議する。	・ 自分の体験でなくても、友達や知り合いの人の話、テレビで見た話などでもよいと伝える。 ・ トラブルの事例を思い浮かべない場合は、今までトラブルに巻き込まれなかった理由を考えて記入させる。 ・ 話し合いの結果を発表することを伝え、先を見通して協議をさせる。
まとめ	5分	5 本時のまとめと次時の確認をする。	

2・3時間目

配当時間		学習の進め方	指導のポイント
導入	5分	1 前回の学習内容を振り返る。	
展開	40分	2 グループで協議したインターネットによるトラブルの事例の中から、それぞれの生徒が一つ選び、問題点や事例発生時の対応方法、予防方法について発表の準備をする。(発表の内容を考え、PowerPointのスライドを作成する)	・ スライドのデザインよりも発表の内容を重視させる。 ・ 発表を聞く人に、事例や問題点、対処方法などが伝わるように工夫するようにアドバイスする。

ま と め	5 分	3 本時のまとめと次時の確認をする。	
-------------	--------	--------------------	--

4 時間目

配当時間		学習のすすめ方	指導のポイント
導 入	5 分	1 本時の学習活動（発表）について知る。	
展 開	30 分	2 インターネットに関わるトラブル事例について、グループ の中で全員が発表する。 ・発表について、「事例紹介のわかりやすさ」「予防方法 や対応方法の妥当性」「スライド作成や発表の上手さ」 という三つの観点で、グループ内で相互評価する。 3 グループで、代表者一人を選ぶ。 4 グループの代表者が、クラス全体の前で発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者は、棒読みにならないように、前を向いて声を出すように指示する。 ・発表を聞くときの態度にも気を付けるように伝える。 ・それぞれの代表者の発表後に、その事例についての補足説明をして、情報機器の特性を知ることと対策をとることの重要性を理解させる。
ま と め	15 分	5 以下の三つの観点で、ワークシートに感想や意見を書く。 ・今回の授業で、特に自分の印象に残ったこと ・インターネットを利用するにあたって注意しようと思うこと。インターネットに関するトラブルに巻き込まれないようにするために、今後心がけようと思うこと ・代表者の発表を見て、発表方法やスライド作成について、分かりやすいと思ったこと、参考になったこと 6 インターネットの利用にあたっての留意点を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの利用にあたっては、情報機器の特性について学び、トラブルに巻き込まれないように自己管理することが大切なことを伝える。